

展示責任者 牧野英一 / 大澤春彦 / 大沼 裕

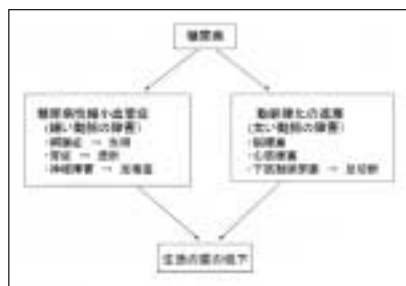
展示責任者所属

愛媛大学医学部臨床検査医学(糖尿病内科)

糖尿病は血液中の糖の値が高くなること(高血糖)を特徴とする病気です。糖尿病は世界的にも頻度が高く、日本人全体では約700万人、40歳以上の人では10%がかかっていると推定されています。さらに、糖尿病の前段階である予備軍の人を合わせると1400万人が何らかの治療が必要です。一方、糖尿病に気が付かない、あるいは治療が不十分といったことにより、高血糖が5年ないし10年続くと、細い血管やが徐々に冒されていきます。その結果、糖尿病特有の3つの合併症、すなわち網膜症、腎症、神経障害が起こります。糖尿病による網膜症により失明する人は年間約4000名、腎症により新たに透析導入される人は年間約

10000名にも及びます。また、高血糖により動脈硬化が進むため、脳梗塞や心筋梗塞なども起こりやすくなります。このような恐ろしい合併症を防ぐには、糖尿病の早期発見はもちろんですが、さらに積極的に発症する可能性の高い人を見つけ、予防することが重要と考えられます。そこで、私達は糖尿病になりやすい遺伝

子を見つけ、糖尿病発症予防のための検査法を確立する目的で研究を行っています。



(図1)糖尿病の合併症



(図2)糖尿病の予防法の確立

展示責任者 岡 芳知

展示責任者所属

共同研究者 鈴木 進 / 石原寿光 / 平井完史 / 片桐秀樹

東北大学大学院医学系研究科

糖尿病とは

糖尿病が増えています。厚生労働省が8月6日に発表した糖尿病実態調査速報によると、糖尿病が強く疑われるか、または可能性が否定できない人は、わが国で推計1620万人にも上ることがわかりました。人口の10%以上にもなるのです。糖尿病は血液のなかの糖分(ブドウ糖)が多すぎるだけの病気ではありません。合併症といって、体のあちこちが傷んでいきます。たとえば、目の奥にある光を感じる網膜が傷んで失明するひとが毎年3000人います。また、腎臓が傷んで尿毒症になって血液透析を開始するひとは12000人もいます。

糖尿病になりやすい体質とは

太ると糖尿病になりやすい、運動すると糖尿病になりにくい、ということは聞いたことがありますか。でも、太っていても運動しなくても糖尿病にならないひとはたくさんいます。どうしてでしょうか。前もって

糖尿病になりやすい体質とわかっていれば、普段から太らないように運動するように気をつけることもできます。そのような体質を遺伝子で見つけ出そうとしているのです。

